

特集

- 私のだざいふ、トピックス ……2~4
- 福岡県知事選挙のお知らせ ……5
- 令和3年度 令和発祥の都太宰府 施政方針 ……6~13
- 新型コロナウイルスワクチンの接種について ……14~15
- 令和3年度 風しん抗体検査および 予防接種について ……16
- 令和3年度 元気づくりポイント事業 のお知らせ ……17
- 令和3年度 保健センター事業 のお知らせ ……18~19
- 太宰府市部落差別の解消の推進に 関する条例を制定しました ……20
- 令和3年度 まほろば市民大学 受講生募集 ……21
- 市からののお知らせ ……22~27
- 連載 ……28~35
- なんでも情報コーナー ……36~43
- 太宰府の文化財 ……44

私のだざいふ

太宰府市副市長

しみず けいすけ  
清水 圭輔



「人の命は我にあり、天にあらざ」と古代中国の思想家老子は言っています。人の命はもともと天から授かった生まれつきのものであり、養生すれば長く、養生しなければ短い。すなわち長命か短命かは、自分の心がけ次第であると言っています。時あたかも日本列島、いや世界中でまん延している新型コロナウイルス感染症の感染が止まりません。新薬ワクチン接種対応で、太宰府市でも連日協議、準備中ではありますが、皆さんの日常生活においても三密（密集、密接、密室）や不要不急の外出などを避け、手指の消毒や咳エチケット（マスク着用）を心がけ、これ以上の新型コロナウイルス感染症の感染者が出ませぬよう基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。世界中にも定着したマスク着用現象が一刻も早く解消され“普通の生活”に戻れますことを念じています。「冬来りなば春遠からじ」新型コロナウイルス感染症も必ずや沈静すると確信します。

民間との連携

大宰府政庁跡で梅の花の採取式

令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト第1弾として大宰府政庁跡で2月26日、(株)山口油屋福太郎の田中洋之社長と楠田市長による梅の花の採取式が行われました。プロジェクトは、梅花の宴の舞台となった太宰府の梅を使った新製品の開発推進、梅の産地拡大などが目的です。(株)ペーカリーイノベーション研究所にて、今回採取した梅の花から花酵母菌が採取・培養され、(株)山口油屋福太郎にてパンやお菓子が作られます。新製品は、地場みやげやふるさと納税返礼品として地域振興につなげます。



(株)山口油屋福太郎の田中洋之社長(写真左)

民間との連携

海外向けオンラインツアーを実施

太宰府市や九州電力などで構成された九州観光促進コンソーシアムが2月17日、外国人を対象にしたオンラインツアーを実施しました。九州の魅力を生かした旅程や体験などを開発するプロジェクト「九州観光促進プラットフォーム-reQreate」の取り組みの一つ。

コロナ禍で訪日できない外国人に向け、万葉衣装をまとった楠田市長が太宰府観光の魅力をアピールしました。



ホテルカルティア太宰府から配信

市民の活躍

高齢者福祉功労者が県知事表彰受賞

令和2年度福岡県高齢者福祉功労者知事表彰の伝達式が2月22日、太宰府市役所で行われました。同賞は、高齢者の福祉増進のため、多年にわたり献身的活動を続けられている皆さんに贈られる賞で、毎年福岡県が実施しています。

老人クラブ会長表彰を鹿島会（榎区）の福元醇さん、優良老人クラブ表彰を香寿会（梅香苑区）、老人ホームヘルパー表彰を社会福祉法人梅香福祉会の山下三紀子さん、池田一美さんが受賞されました。楠田市長から、これまでの活動への感謝とねぎらい、受賞へのお祝いの言葉が贈られました。



受賞された皆さん(前列)

運動習慣定着促進事業

ケア・トランポリン体験会

太宰府市では「ケア・トランポリン」の体験会を2月15日、とびうめアリーナで開催しました。ケア・トランポリンは転倒防止用の手すりが付いた1人用のトランポリンで、膝や腰に負担が少なく、全身の筋肉を鍛えられるという運動器具です。跳ぶのではなくトランポリンにかかとを押し沈めたり、トランポリンの上で歩いたりして安全に運動することができます。健康寿命を延ばすための取り組みとして、太宰府市でも今後、スポーツ教室などに取り入れる予定です。



音楽に合わせて楽しく運動した参加者

市内高校との連携

福岡農業高校で植樹セレモニー

太宰府市と福岡農業高校が新品種の梅を使った商品開発を行うことを記念して2月24日、同高で植樹セレモニーを行いました。実が大きく、果肉が鮮紅色の「露茜」と、糖度が高く酸味の少ない「ニコニコット」の2種類で、敷地内に計15本を植樹しました。

令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト推進事業の一貫で、これまで食品メーカーなどとポテトチップスやサイダー、チョコレートなどの梅製品を共同開発してきた同高梅研究班と、梅の栽培から収穫、そして新たな梅の商品の開発まで進めてまいります。



記念プレートを囲んで記念撮影

トピックス

令和発祥の都太宰府

大宰府史跡100年記念フォーラム

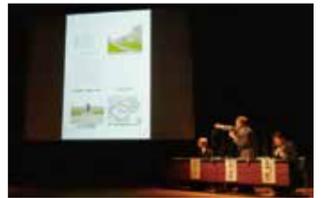
大宰府跡・水城跡が国指定の史跡となって100年を迎えたことを記念し、市主催のフォーラムを3月7日、プラム・カルコア太宰府で開催しました。

午前には、日本文学に造詣が深く太宰府ともゆかりのあるロバート キャンベル先生をお迎えし、「日本近代の黎明と太宰府」と題してご講演をいただきました。博覧会は文化や近代化の取り組みを紹介する場となっていますが、九州初の博覧会が明治6年に太宰府で開かれたこと、江戸時代には太宰府で博覧会が開催されていること、こうした文化的なエネルギーが史跡指定前の太宰府にあったことなどを紹介されました。

午後のシンポジウムでは、前半は「古代大宰府の客館と国際交流」と題し、太宰府の源流である古代の大宰府や客館について専門家の先生方にご紹介いただきました。後半は「これから100年ー太宰府の未来を語る」と題し、キャンベル先生、楠田市長らと交え、魅力を伝える仕組みづくり、拠点の創出、広域連携、子どもたちにどう伝えるかなどの意見が交わされました。



フォーラム前日に客館跡を視察するキャンベル先生



キャンベル先生の講演会や楠田市長らと交えたシンポジウム

## 市内高校との連携

### 太宰府高校がごじょう保育所の卒園証書を制作

ごじょう保育所は2月26日、太宰府高校芸術科書道専攻クラスの生徒から、手描きの卒園証書を受け取りました。同高が国際高校生選抜書展など多くの大会で活躍していたことから、平成29年度にごじょう保育所が筆耕を依頼しました。それ以降、卒園証書の名前などを書いてもらっています。



なかやま みさき なかしま さき  
同高の中山魅咲さん(中央)と中島紗樹さん(右)

## 寄付

### 明治安田生命保険相互会社寄付金贈呈式

明治安田生命保険相互会社の生井俊夫福岡支店長らが2月17日に市役所を訪れ、寄付金を贈呈されました。

昨年8月にも「私の地元応援募金」として寄付をいただきましたが、いまだに猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、今年も同社から「地域の元気応援寄付」をいただきました。



生井福岡支店長(左)

## イベント

### 大型プロジェクションで大宰府政庁南門を再現

2月12日、13日に客館跡で、大宰府政庁をCGで再現した大型プロジェクションが行われました。一般社団法人福岡デザインアクション(Fuda)による観光庁採択事業です。大型スクリーンに、縦15m、横30mの南門をほぼ原寸大で再現。大型プロジェクションを背景に、雅楽と舞なども披露され、観客を魅了しました。



色と光で美しく再現された南門

## 民間との連携

### 「いいまちアプリ」完成報告会

一般社団法人住宅流通促進協議会と本市が共同研究してまいりました太宰府市民向け住宅維持支援サービスを目的としたアプリ「いいまちアプリ」が完成し、3月2日報告会が行われました。

良質な住宅ストックを増やし、中古住宅の流通を活性化させることを目的としたアプリで、住宅価値を維持するための情報や知識を求める住宅所有者と、維持管理やメンテナンスなどのサービスを提供する事業者のマッチングを図るものです。気軽に相談できる環境を整えて、住み継がれる家を拡大し、持続可能な地域社会の形成を狙います。



完成報告会での記念撮影

## 式典・表彰式

### だざいふ景観・市民遺産フェスタ2021

だざいふ景観・市民遺産フェスタ2021が2月20日、太宰府天満宮余香殿で開催されました。新型コロナウイルス感染症対策として、一部のプログラムを変更し無観客で実施されました。

今年は太宰府市民遺産の取り組みが10周年を迎え、それを記念した式典、こども絵画コンテストの表彰式、「四王寺山の三十三石仏」「宝満山のヒキガエル」の認定書授与式などが行われました。



こども絵画コンテストの受賞者